

# サンゴ礁生態系 保全行動計画 2016-2020

## モデル事業



# 特に取り組むこと = 重点課題

1. 陸から海への影響を減らす  
(赤土、栄養塩の流出対策)
2. サンゴにやさしい観光  
(持続可能なツーリズム)
3. 暮らしとのつながり再発見  
(地域の暮らしとのつながり再構築)



## ① 陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進

- 台風大雨や労働力不足により赤土流出防止対策が進まない、農家への対策手法の普及、整備対策とソフト対策の組合せ、栄養塩流出防止のための污水適正処理等が課題

### 【2020年度における目指すべき姿】

- 関係機関の連携、協力により、数力所の地域において陸域に由来する負荷の軽減対策を試行し、そこから得られる教訓を他地域でも応用可能なように整理・提供する



## ② サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進

- 観光利用増加、過剰利用や不適切な利用による踏みつけ等の悪影響

### 【2020年度における目指すべき姿】

- サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムのモデル事例が構築され、サンゴ礁生態系の適切な活用方法や保全などに係るノウハウ等の共有体制が構築される
- 海外観光客増加に向け、多言語対応の保全への理解を深める効果的な普及啓発ツールが開発・提供される



### ③ 地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築

- サンゴ礁とのつながりで育まれた地域の伝統文化の継承、高緯度サンゴ群集域における地域社会の対応

#### 【2020年度における目指すべき姿】

- サンゴ礁生態系がもたらす恵みが地域毎に整理され、理解され、若しくは適切に活用されることを通じて、地域主体のサンゴ礁生態系の保全が促進される
- 高緯度サンゴ群集域においては、サンゴ礁の恵みの活用方法などに関する情報の共有が促進される



(出典: 石垣島沿岸レジャー安全協議会  
「あんなだったよ～ 石垣島」2015 イラスト＝笠原利香)

# モデル事業について

環境省では、各地域で対策を推進する際の参考事例となるよう、地域が主体となっていて取り組むサンゴ礁生態系保全の推進体制を構築するためのモデル事業を実施（2016-2020の5カ年間）

重点課題① 陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進

⇒与論島

重点課題② サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進

⇒石垣島  
米原海岸

重点課題③ 地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築

⇒喜界島